

目 次

まえがき

1. 研究成果	1
(平成 22 年度)	
1.1 地球温暖化対策に関する研究.....	3
1) 街路樹の LCCO ₂ に関する研究	
【技術研究開発調査費】	5
1.2 環境影響評価の技術支援に関する研究	11
2) DNA を用いた生息地分断影響予測モデルに関する研究	
【試験研究費】	13
3) 福島県国道 289 号甲子道路道路横断施設等検討調査	
【地方整備局等依頼経費】	17
1.3 外来生物等への的確な対応に関する研究	19
4) 特定外来生物二次指定植物の防除手法の確立に関する調査	
【国営公園等事業調査費】	21
5) 河川管理における外来種対策調査	
【河川事業調査費】	25
6) 地域生態系の保全に配慮した緑化手法の開発	
【道路調査費】	29
1.4 景観の保全と再生に向けた技術支援に関する研究.....	33
7) 公共事業の景観創出が地域のまちづくりに及ぼす効果に関する研究	
【試験研究費】	35
8) 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価システムの構築に関する研究	
【国営公園等事業調査費】	41
9) 公共事業における景観検討の高度化に関する調査	
【河川事業調査費・河川総合開発事業調査費・道路調査費】	49
1.5 樹木管理の高度化に関する研究	51
10) 公園樹木管理の高度化に関する研究	
【国営公園等事業調査費】	53
11) 街路樹計画支援技術の高度化に関する研究	
【道路調査費】	59

(平成 23 年度)

1.6 東日本大震災に関する研究	61
12) 仙台市・南蒲生海岸公園におけるニセアカシアの生育状況	63
2. 発表論文等 ※	67
2.1 論文・技術報告等	69
1) 緑化材料として春と夏に採取した森林表土の撒き出し試験事例	71
2) 国営備北丘陵公園における森林表土利用工による法面緑化の施工事例	76
3) 栃木県北部におけるホンダヌキの生息適地予測とダム建設の影響評価	81
4) 下水道管きょにおける根系侵入障害に関する一考察	93
5) 野生動物におけるロードキル, バリアー効果とミティゲーション技術に関する 研究の現状と課題	101
6) オオキンケイギク優占群落の選択的抜き取り管理の時期による 礫河原植生復元効果の違い	111
2.2 学会・シンポジウム要旨	117
7) 道路環境影響評価における糞抽出 DNA による個体識別の適用可能性	119
8) 景観重要公共施設制度の効果的な活用方策に関する研究	120
9) 土木構造物に係わる技術基準等における景観の位置付けに関する研究	132
10) 野生動物に対する道路横断施設のモニタリングによる効果検証	138
11) 森林表土を利用した緑化のり面の植生とのり面属性の関係	144
2.3 雑誌・特集記事等	145
12) 景観・緑化・のり面保護工対策	147
13) 景観重要樹木の保全対策	151
14) 野生動物の道路横断施設の現状とその効果	156
15) 森林表土を利用した緑化技術の開発	160
16) 地域の景観を支える樹木 ―景観重要樹木の保全―	165
17) 緑化のり面における植生の研究	170
2.4 出典	177
刊行資料（過去 5 年間）	181

※第 2 章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。